

令和2年10月6日

学生・保護者・教職員の皆様へ

広島商船高等専門学校

校長 辻 啓介

広島丸船長 清田 耕司

### 広島丸における新型コロナウイルス対策指針について（2報）

広島商船高等専門学校では、9月1日から分散登校措置を講じた対面授業を行っております。

学内で実施している新型コロナウイルス感染症の抑止措置を踏まえ、広島丸船内での実習における、学生の実習に関する指針を6月18日付けでお知らせしております。

指針を元にこれまで、広島丸では主に停泊したままの実習を行ってまいりましたが、後期以降に広島丸で行う「練習船実習」（商船学科3年及び5年）において、航海時間を確保するため、密を避ける等の感染防止措置を講じることを前提として、船内供食を行うことに変更します。

従来の「練習船実習」では、3泊4日の航海日程で瀬戸内海各地へ寄港しながら実習を行ってまいりました。

なお、引き続き、他港への寄港及び泊を伴う実習は行いません。

#### 1. 乗船時の確認

- ① 乗船者に対し乗船日2週間前より健康・行動チェックの実施  
⇒ 登校許可で確認する。
- ② 学生へ実習中の注意喚起（別紙、広島丸での実習に向けて）
- ③ 乗船前の人数確認において、体調確認を行う  
⇒ 登校時の健康観察をクリアしている前提で、乗船時においても確認を行う。ただし、不調が認められる場合は乗船を許可しない。
- ④ 非接触型の体温計による体温測定
- ⑤ 発熱が認められた場合、実測式体温計による再測定を行い37.5度以上の場合、乗船を許可しない

## 2. 乗船中の注意

- ① 船上で手の消毒（手洗い）を行ったのち、マスクを着用し船内に入る  
⇒ 乗船中は、飛沫を飛ばさないように原則マスクを着用する。  
実習の場面に応じてフェイスシールドを使用する。  
⇒ こまめな手洗いや手指消毒の実施を指導する。
  
- ② 実習、その他全般で三密を避ける方策を取る。  
三密を避けるため、可能な限り少人数による実習を行う。  
（船橋・教室・機関室・機関制御室・工作室・端艇甲板、船首甲板、  
船尾甲板等の暴露部（屋外）などへ分散）  
また、教室などでは、隣の席との間隔を1名分以上開けて着席する。
- ③ 船内の換気のため、窓、ドアの開放や船内空調の利用、機関室などでは、大型通風機による換気（給気・排気）を行う。
- ④ 船上の手すり、ドアノブなどのアルコール消毒を行う。
- ⑤ 学生への指示は、テキストや板書による指示や場所に応じて、マイク・拡声器によって行う。